



まちのシンボル「ひと・まち・ゆめ」

わが町 志津南 NEWS

志津南ホームページ
http://waka-kusa.net/

発行
志津南地区自治連合会
連絡先
志津南市民センター
(公民館) 563-6206

協働の町づくりへ協議開始



市・市自治連が8月から 志津南でも検討委が民意さぐる

協働のまちづくり協議会の設立に関する草津市と市自治連の協議、調整が8月から始まりました。官から民(住民)への「住民サービスを分権(委譲)する仕組みづくり」の合意に向けて話し合うものです。受け皿となる同協議会は「協働のまちづくり」に関し地域を代表する組織となるもので、市との関係などの基本事項は全学区・地区に共通するのが前提となります。高齢化が進む当地域は既に設立検討委員会を立ち上げ「安心して暮らせるまちの姿と目標」

「その推進方針・具体的な方法」等を定めて、住民みんなで共有し住民同士の絆を深め健やかに暮らせる町づくりに取り組む時期にきています。検討委員会では、自治連等のトップが毎年交代しても「協働のまちづくり協議会」が機能し「ぶれない町づくり」が必要であると考えています。このため7月には住民による地域自治健康・福祉生活環境の維持向上防犯、防災活動教育・文化の充実活動を柱とする素案を各町内役員会に提示し意見を求めているところであり、住民みなさんのご理解

新型インフルに備えを

うがい、手洗い、栄養にも留意



今年、春に発生した新型インフルエンザは、全国的に感染が広がり、今後さらに季節性のもものと合わせて流行する恐れがあります。必要以上にあわてて流行する恐れがありませんが、感染拡大をできる限り防ぐために、日ごろから感染予防策を実施し、正しい情報に基づき冷静に対応しましょう。自分と周囲の人を新型インフルエンザから守るためには、通常のインフルエンザと同じく感染予防が重要です。

そのために 外出後のうがい・手洗いをこころから栄養、休養を取り、体力や抵抗力を高める ウイルスは咳(せき)やくしゃみなどから感染します。「咳(せき)エチケツト」や手洗いに注意する 人混みをさけましょう。また新型インフルエンザの感染が疑われる症状(せき、のどの痛み、鼻水、鼻づまり、体がだるい、頭痛など)がある人は、速や

かに一般の医療機関で受診(事前に必ず電話をし、マスクを着用して受診してください)。受診する医療機関がわからない場合は、次の「新型インフルエンザ相談窓口」へご相談ください。
滋賀県健康推進課(平日のみ)
077(528)4983
草津保健所(平日のみ)
077(562)3526
土・日祝は音声で別の連絡先を案内します。
また新型インフルエンザに関する情報は草津市ホームページ(<http://www.city.kusatsu.siga.jp/>)をご覧ください。

解いただけるものを取り決めていきたいと考えています。
みなさんの真摯な考え、思い、希望などを町内会を通じて、まちづくり検討委員会に出していただくようお願いいたします。
(町づくり検討委員会、自治連合会)
証明類の発行停止
草津市役所は、住居表示などに対応するため、10月24日(土)、25日(日)と、11月14日(土)、15日(日)の4日間、戸籍謄本や住民票などの市民課の諸証明と、所得証明や納税証明などの税務関係の諸証明の発行を停止します。ご注意ください。
定額給付金申請は10月13日まで
定額給付金の申請期限が迫っています。平成21年2月1日を基準日に、市の「住民基本台帳に記録されている方」および「外国人登録原票に登録されている方」が、定額給付金および子育て応援特別手当の対象ですが、草津市の申請期限は、10月13日(火)です。期限を過ぎると給付金を受け取ることができませんので、まだの方は、早めにご手続きしてください。

地域協働合校が宿泊体験



「食」を体で実感

ワインナー作りに興味津々

志津南地区協働合校（岩井淑郎会長）は「食」をテーマに8月8日、9日の二日間宿泊体験を開催。4年生から6年生までの15人が参加しました。

一行はバスで伊賀の里「モクモク手作りファーム」（三重県伊賀市）へ出かけ、「ワインナー作り」に挑戦しました。写真。子どもたちは、羊の腸を使うこと、ピストルという道具を使うことに興味津々。

実際のワインナー作りでは肉をこねる時に、手がベトベト、ヌルヌルして少し手間取りましたが、難しい作業は6年生がフォロ。できあがったワインナーは作ったその場で早速、ゆでてもらって試食。「とてもおいしい」と好評でした。残りのワインナーは、翌日の朝食用に持ち帰りました。

また、ポニーの乗馬、子豚のステージなど、農場の動物と触



まとめを発表する子どもたち

最後に、二日間の印象に残ったことや感想をグループごとにまとめて発表して閉校。子ども

れ合ったほか、「母牛の血液からミルクができること」などの話を聞いたあと、手で牛の乳をしぼる貴重な経験もしました。

市民センターに帰って、夕食は、健康推進員さん手作りの「牛丼」。おなかを満たしたあとは「デユオEです」のお二人を招いた「コンサート」で保護者や地域の人と一緒に楽しみました。

二日目は、ラジオ体操のあと、みんなで朝食作り。グループごとに手作りワインナーを使ったオープン・サンドのコンテスト。「カワイイで賞」「よく考えたで賞」などを決めたあと全員で平らげました。

たちの感想や愉快的朝食メニューなどのまとめを市民センターのサロンに掲示しています。

ラジオ体操に2700人参加



志津南小PTAは恒例のラジオ体操を夏休みの7月21日から31日の前期と8月24日から31日の後期あわせて15日間、地域内の各公園で毎朝7時半から実施、延べ2700人が参加しました。写真。

さわやかな朝の空気の中、眠そうな目をこすりながらの子、早めに来て元気いっぱい走り、お母さんに手をひかれて参加する未就学児のほか、中央公園では、若寿会のみなさんやご近所の方々も加わってにぎわいました。

「ご協力いただいた地域の方々ありがとうございます。」

今年は雨がよく降ったせいか各公園とも雑草が予想より多く茂りましたが、地域の人たちが事前に刈り込みしてくださった

子ども会が稲刈り



志津南地区子ども会は9月6日、若草のテニスコート近くの田んぼで稲刈りを行い、小学生29人が地域の大人と一緒に収穫の秋を楽しみました。写真。

今年は雨が多く、日照不足による成育不良を心配しましたが、5月に植えた苗は立派に成長し、予定通り刈り取ることができま

おかげで気持ちよく体を動かすことが出来ました。

本年も地域のみなさんのご協力で事故もなく無事に終えることが出来、ありがとうございます。

近隣のみなさんには早朝からご迷惑をお掛けしたことを心よりおわび申し上げます。

（志津南小学校PTA地域部）

した。今回は機械をほとんど使わず、地域の大人の方に手伝ってもらいながら、鎌で刈り取りました。

大変暑い中でしたが、みんな一生懸命に刈り取り、土手に積み上げた稲穂に満足そつでした。刈り取った稲は、その場でコンバインにかけられましたが、子どもたちは稲穂が処理されていく様子に驚いていました。最後に田んぼの管理と稲の世話をしていたいただいた大津市桐生町の山本勇一さんに子どもたちからお礼の言葉述べて解散しました。

収穫したお米は参加者に配るとともに、地域で行われる行事に使おうと考えています。

（子ども会）

落語で人権の大切さ学ぶ



人権講座・第3講座が8月22日、志津南市民センター（公民館）で開かれ、「差別意識を笑ってしまおう」と題して県内で数多く講演している小学校教諭の水采亭平助さん（本名安田晴彦）を講師に迎え、人権落語「昔から、そしてみんなが」を聞きました。写真。

意味のない「しきたり」や出身地による結婚差別などをいく

つかの小話や落語に仕立てて、内容ごとに落ちをつけながらの語り。平助さんは特に、出身地による差別は人権を無視した行為であり、その最たるものが部落差別であると結びました。

今も、なお受け継がれる意味をなさない慣習や身の回りの不合理な考えなどに、正しい知識と自らの判断によって気づき、その人の価値を見出し、人格を尊重し合うことが、差別をなくすことにつながるということを、落語という手法で、笑いを織り交ぜながら別の角度から切り込んだお話からも、私たち一人ひとりが、学んでいかなければならないことだと感じていたかったです。

なお、町内学習懇談会の日程が次の通り決まりました。

若草ソフトボールクラブ（降矢義夫代表）が来月3、4日の二日間、和歌山県紀ノ川市で開催される近畿大会（50歳以上の部）に滋賀県代表として出場します。ここで好成績を上げれば全国大会が待っています。

同クラブは平成二十一年度の目標に 全国大会出場 草津市リーグ戦A1クラス昇格を掲げて練習に励んできましたが、前半を終わり、草津市長杯ソフトボール大会（一般の部（年齢フリー））、壮年の部（四十歳以上）でアベック優勝、目標の草津市ソフトボールリーグ戦A1リーグ昇格を果たすとともに、全国大会（50



若草ソフトボールクラブ（降矢義夫代表）が来月3、4日の二日間、和歌山県紀ノ川市で開催される近畿大会（50歳以上の部）に滋賀県代表として出場します。ここで好成績を上げれば全国大会が待っています。

同クラブは平成二十一年度の目標に 全国大会出場 草津市リーグ戦A1クラス昇格を掲げて練習に励んできましたが、前半を終わり、草津市長杯ソフトボール大会（一般の部（年齢フリー））、壮年の部（四十歳以上）でアベック優勝、目標の草津市ソフトボールリーグ戦A1リーグ昇格を果たすとともに、全国大会（50

ソフトボールが近畿大会へ

- | | | | |
|-------|----------------|---------|-----------------|
| 若草一丁目 | 10月4日(日) 午後7時 | 若草三・四丁目 | 10月25日(日) 午前10時 |
| 若草二丁目 | 10月3日(土) 午後7時 | 若草五・六丁目 | 10月17日(土) 午後7時 |
| 岡本町西 | 10月3日(土) 午後6時半 | 若草七・八丁目 | 10月24日(土) 午後7時 |

こよみ

- 9月14日(月)～26日(土) 交通防犯ポスター作品展示
- 9月17日(木) 食育講座(朝ごはん。朝ごパン。) 10:00～12:00
- 9月19日(土)、10月3日(土) 健康ウォーキング 8:15 若草中央公園集合
- すこやかセミナー 青少年育成区民会議
- 9月22日(火)、10月13日(火) 地域サロン: 懐メロを歌う会 10:00～11:30
- 9月23日(水・祝) いのち・愛・人権のつどいしが県民芸術創造館
- 9月26日(土) 社会奉仕 8:15 若草中央公園集合
- 9月27日(日) スポーツ祭り: 体育振興会 9:45 志津南小学校集合
- 9月30日(水) やすらぎ学級 13:30～17:00
- 10月2日(金) 定例健康相談日 9:30～12:00 ふれあい昼食会 12:00～13:00 ボランティア「泉」
- 10月8日(木) 人形劇講演 10:30～
- 10月10日(土) 平和祈念講演会 志津南地区社会福祉協議会
- 10月14日(水) 離乳食レストラン 健康推進委員会 印の会場は志津南市民センター(公民館)です

第2回介護食講座



歳以上の部) 出場への挑戦権を得ました。

舟木陽一監督、藤坂、中尾、望月、久保コーチの体制のもとにグラウンドがある限り、実践練習を重ね、悲願の全国大会出場を目指します。

地域の多くの皆さんの応援を期待しています。

前回好評だった介護食講座のパート2が9月1日、志津南市民センターで開かれ、男性7人を含む17人が参加、管理栄養士の市木圭子さん、山元陽子さんから栄養バランスや介護食について話を聞いたあと、調理実習を行いました。写真。

今回のメニューは、うなぎにぎり、おから入り千草焼き、卵豆腐とはんぺんの和風ポテトジュー、きなこのミルクゼリー小豆乗せの4品でした。

介護食は特別な料理を作るのではなく家族と同じメニューから介護度に応じて「ほぐし食、刻み食、ペースト食」とひと手間加えて調理することを学びました。また症状にもよりますが、食事はできるだけ座った姿勢、例えば飲み込んだ食べ物気管に入ってしまうのを防ぐため、あごを上げたりひいたりして食べる体験もしました。

参加者からは、「ためになつた」「楽しかった」との声も聞かれ、和やかな時間を過ごしました。

私たち健推はこれからもこのような講習を考えていきたいと思っています。今後も皆様のご参加をお待ちしています。

(志津南健康推進協議会)

10月21日に ふれあいコンサート

志津南地区青少年育成区民会議は10月21日(水) 午前10時30分から約1時間、草津市野路六丁目のしが県民芸術創造館で「ふれあいコンサート」を開催します。

これは「滋賀教育の日」志津南小学校プログラムの中に組み込まれているもので、児童と保護者、地域の方が一緒に参加して行われます。



若草俳句会(中村恵蔵代表)はこの6月に発足したばかりのホヤホヤのサークルだ。だから句会も取材した8月が3回目。この日参加したのは句作の指導にあたる井上次雄さん(若草3

丁目、長谷川權主宰「古志」同人)と男性一人、女性三人の計5人。まず各人が、宿題の当季雑詠という自由句5句と兼題句(あらかじめ決められた題)1句を提出する。そろったところで井上さんが選句用紙を配る。提出

された句を回覧、その中から、自分がよいと思つて選んだ句を指名された人が順に読み上げる。それについて、井上さんがよい点、悪い点を指摘しながら添削をほどこしていく。これが終わると、次は席題といつて当日その場で、決められた題に従つて30分くらいの間に句を詠み投句する。これも同じように一つひとつ読み上げ選んだ理由を述べていく。それぞれ

若草俳句会

句作に心いやされる

取次店をしているショップモールのクリーニング店を井上さんが訪れ、たまたま俳句の話になり、井上さんの句に感銘を受けた中村さんが俳句会の立ち上げを持ちかけたところ、井上さんが講師を引き受けたことから実現した。7月に入会したという三根恵子さん(若草3丁目)は「俳句の盛んな愛媛県生まれのせいもあって、子どもの頃からなじんでいて景色を見れば五七五調になるほど」と親しみをこめる。京都・淀からの知り合いだといふ中村さんに誘われて初めて参加した木下明美さん(京都)は「子どもが独立し、言葉遊びとしてみてもいい」と楽しみにしている。また発足とほぼ同時に入会した吉澤さよ子さん(野路町)は「俳句は奥が深い。いろんな人の句を知るのは勉強になる。自分の表現を豊かにしていく励みになる」と背筋を伸ばす。

自分の句を披露し講師の指導を受ける会員



ななみに俳句人口は少なくとも百万、最大では1千万ともいわれている。また海外でも70カ国で非日本語による3行詩が「HAIKU」として親しまれている。...

代表 中村恵蔵
会員 6人
活動 毎月一回土曜日に志津南市民センター(公民館)で句会を開催。
会費 300円
連絡先 中村代表 電話(562)9085

西消防分署が南消防署に昇格

西消防署分署(野路9丁目)が10月1日から消防署に格上げされ新しく「南消防署」として、市南部の志津地区、志津南地区、矢倉学区、玉川学区、老上学区、南笠東学区を管轄します。

また、現在の消防業務に加えて、消防に関する各種届出の受理、はしご車や救助工作車の出動など、機能が拡充されます。

これに伴い、下笠町の西消防署は、新・南消防署以外の管轄地域を担当し、栗東市小柿三丁目の現・南消防署は中消防署に改称されます。

なお、新・南消防署の電話番号は、(564)4951です。



発足した新築の南消防署

9月27日にスポーツまつり

第5回志津南地区スポーツまつり(体育振興会主催)が9月27日(日)、志津南小学校グラウンドで開催されます。

競技は、町内対抗年混合リレーや借り物競争、三人四脚、グラウンドゴルフなど11種目で、現在、出場者を募集しています。

一般競技以外にも、幼児が参加できる競技や大声コンテスト、ゲームなどを予定しています。多数の参加をお待ちしています。

なお、集合時間は当日午前9時45分です。

10月8日に

人形劇講演

湖南市の人形劇サークル「おにぎり村」の公演(地区民生・児童委員主催)が10月8日(木)午前10時30分から11時30分まで志津南市民センターで行われます。

おにぎりのようにぬくもりのこもった人形劇をお子様と一緒に楽しみたい。リズムに合わせて歌ったり、踊ったりと楽しい人形たちに会えることでしょう。地域のみなさんもぜひご参加ください。お待ちしております。入場無料。